

第3回 地域医療機構りつりん病院地域協議会 議事録

開催日 平成29年3月9日(木) 15時30分～16時20分

開催場所 地域医療機構りつりん病院 本館3階会議室

出席者

- 院外・・・虫本光徳(医師会)・横井徹(医療機関)・岡谷豊(行政/保健所)・宝山秀逸(利用者/患者)
- 院内・・・前場院長・林副院長・大橋副院長・大森副院長・富木田事務長・軍神総看護師長・田村事務長補佐(総務企画)

議事内容

1.あいさつ (病院長 前場隆志)

私の方から2点ほど、ご報告をさせていただきます。まず1点目は、長い間、循環器内科の医師がいなくてご迷惑をおかけしましたが、昨年4月より3名の常勤医師が来てくれるようになりました。この一年をかけて患者数・活動も増えて、安堵している所です。この後、大森より活動等の紹介させていただきます。

2点目は、国の地域医療構想が進んでおり、急性期病床を含め、どの病院も病床を減らされる方向となっています。この地域医療構想を見据え、少し早い対応ですが、当院は、2月1日より199床へ病床数を減らしました。病床は急性期、一般病床として120床、残りは、慢性期、回復期病床となっています。最近は、稼働率が100%を超えたりして少々苦しくなっていますが、職員も忙しい中、頑張ってくれています。今後も199床で運用していく方針ですので、外部委員の方々にもご了解して頂きますよう宜しくお願い致します。

以上、私からの報告を兼ねてご挨拶とさせていただきます。

2.委員の変更

○院内・・・大森副院長(委員の追加)

3.議長選出

病院長を議長とする。(選出根拠⇒地域協議会設置要綱の第4条)

※出席者全員了承

4.議題

(1)地域医療機構りつりん病院の現状について (病院長 前場隆志)

りつりん病院の現状についてですが、先ほどのご挨拶で申し上げた内容でその他

に大きな変更はありません。

職員一同頑張っていますので今後とも宜しくお願い致します。

(2)循環器内科の報告について(副院長 大森浩二)

※別紙資料(構成員、業務分担、診療実績)に沿って報告

(前場)

この周りでは、侵襲的な心カテやインターベンションをやられている病院がかなりありますので、当院の循環器内科は、非侵襲的な検査等を担当として、急性の疾患については、近くの専門の病院へ紹介をしています。心臓リハビリについては、重要な治療方法として積極的に取り組んでもらっており、逆に他病院からの紹介を受入れています。

(虫本)

心カテ等は全然やっていない？

(大森)

やっていません。近隣の病院でやっている病院がたくさんありますので、医療資源が無駄になってもいけないので、我々は、前衛・後方支援が役割だと思っています。近隣の病院には、香川大学の同門がいますので、スムーズに連携もできています。(ペースメーカーについては、やっています)

(大橋)

院内でも高齢化が進んでおり心疾患も多く、循環器内科医師が来てくれて非常に助かっています。手術後の不整脈等でもすぐに対応してもらい安心できています。病院全体にとっても大変助かっています。

(3)訪問看護ステーションの活動について(総看護師長 軍神弘美)

※別紙資料(活動実績、特徴、今後の展望、費用)に沿って報告

(前場)

訪問看護ステーションになると病院附属とはいえ、独立採算制になります。自分達の給与を含め、諸費用を計算した上で現在のところ、黒字経営ができています。

病院附属の訪問看護ステーションは、香川県では1桁ぐらいしかない状況で、これから必要な医療・介護だと思いますが、このあたりについてはどうでしょうか

(虫本)

介護認定審査をしている立場としては、一般の方に言われる場合は、「介護度」と使うのは良いと思いますが、文章にする場合は、「要介護度」と使って頂きたい。

(軍神)

そうですね、分かりました。ご指摘ありがとうございました。

(宝山)

病院附属の訪問看護ステーションは、数少ないようですが、りつりん病院としては、積極的にPRをされているのでしょうか

(軍神)

院内からの患者さんで8割を占めていて、公にはしていますが、積極的に営業をしたりはしていません。

(宝山)

今後は、増えてくる分野だともおもいますが

(前場)

ご指摘のようにPRをしていかないと思っていますが、あまり増えすぎると今のマンパワーでは限界がありますので、余裕が出来れば、ぜひとも伸ばしていきたいと考えています。ただ、病院全体としても看護師が不足している状況で、なかなか特殊な領域ですのでマンパワーの問題をどうにか出来れば良いのですが。

(岡谷)

居宅支援事業所の開設による事業拡大の話があったが、ケアマネを登録して、先ほどのマンパワーの問題も解決して、院外の利用者を増やすといった展望でしょうか

(軍神)

展望はそうですが、今回は、今後の訪問看護ステーションとの繋がりで書かせ頂いており、まだ、ケアマネも採用していない状況です。将来的に在宅と病院と訪問看護ステーションを繋げていくためには居宅支援事業所が必要だと思っています。

(虫本)

訪問看護ステーションの看護師の方がケアマネを兼ねるのは、難しいですか

(軍神)

ケアマネの資格は持っていますが、訪問看護の長であり、訪問看護に常時出ているような状態ですので、難しいですね。

(大橋)

訪問診察を院内の医師が行っていますが、先生方は、在宅・訪問診察の支援等はされていますか

(虫本)

市医師会の代表できていますが、そういう時に開業医にお願いして欲しい。院内の先生方も忙しいでしょうからそういう時は、患者さんの近くの開業医に往診等を

相談して利用してもらいたい。医療と介護、訪問の連携が出来てくると思います。
在宅医療推進の為、ぜひとも開業医を利用して下さい。

(横井)

私は、透析をしているので、透析中はなかなか出ていけないので、看護協会の 24 時間対応出来る訪問看護ステーションにお願いしていますが、タイミングでお願いできないときは、選択肢が増えるのかなと思います。

(前場)

院内の医師が訪問診察に出向いていくのは、かなり負担で、これ以上増やすのも現実的に厳しい状況です。ご指摘のとおり患者さんに説明して開業医の先生方をお願いする事も検討させてもらいたいと思います。

(4)その他 (病院長 前場隆志)

委員の方でご意見があれば宜しくお願い致します

(虫本)

私は、先生方に患者さんの事で質問したり、相談したりりつりん病院のEメールを使っていますが、どのような形で先生方には伝わっているのでしょうか

(富木田)

代表メールですので、担当が紙面に打ち出して、その日の内に各先生方に渡しています。

《前場院長》

病診懇話会を定期的に行っていますので、りつりん病院の現状と今後どう考えるかを今度の話題に出させて頂いたらと思っています。

本日はご意見ありがとうございました。今後ともご支援ほど宜しくお願いします。

(5)閉会(副院長 林正作)

この度は、りつりん病院地域協議会にご参加いただき有難うございました。当院は、2月から199床と変更しましたが、空きベッドが無い等、まだまだ対応に戸惑っている面も多くありますが、今後は、このベッド数で頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。